

協働事業に関する企画書

団体名 NPO法人さやま保育サポートの会

<p>1 事業名</p>	<p>子育て支援方策の拡大・深化 一家庭訪問型支援(ホームスタート)の導入一</p>
<p>2 事業の意義</p>	<p>家庭訪問型支援方法の一つとして、ここ数年の間に、全国的に支援事業を広げてきたNPO法人ホームスタートジャパンの取り組みに着目した。母親の子育て経験をベースに、傾聴と協働によって、支援の成果を上げているその方法を、狭山市にも導入し、家庭訪問事業に携わることのできる人材養成を図る。今年度はその仕組みづくりに当たりたい。</p>
<p>3 実施体制</p>	<p>1. ホームスタート・ジャパンの実施するオーガナイザー養成研修の受講(東京:6月13・14・15日) 3人派遣 2. オーガナイザーを軸とするホームビジター養成講座の実施 10月～11月</p>
<p>4 役割分担</p>	<p>【提案団体の役割】 とりあえずホームスタート・ジャパンの家庭訪問型支援を学び、スタッフの養成に当たる。市の展開する子育て支援に当たる各課と連携し、家庭訪問を必要とする家庭の把握に努める。</p> <p>【市の役割】 家庭訪問型支援の必要な子育て困難家庭の把握に努め、当NPOと連携を取りつつ支援を展開する。実際に家庭訪問を実施すると、人件費もかかるため、実施運営のための経費の補助に当たる。</p>
<p>5 協働の効果</p>	<p>当会は、市や市内の子育て支援団体とネットワークを結び、子育て支援に携わってきた。活動を通して、虐待や不適切育児の防止には、自らセンターやファミサポ、サークル等を利用できない、引きこもりがちな家庭にこそ、より手厚い支援をする必要があると感じている。ホームスタートが市との協働事業となれば、利用者が安心して受けることができる。また、広報や母子手帳発行時、乳児全戸訪問時等を通して、全子育て家庭に周知でき、今まで支援できなかった孤立した家庭にも情報が届き、支援に繋げることができる。そのことによって、育児の喜びを取り戻す母親の再生に寄与できると考える。</p>
<p>6 事業のアピールポイント</p>	<p>ホームスタートは、埼玉県内ではまだ、和光市・加須市・越谷市・吉川市・戸田市において導入されているに過ぎない。が、その効果は各地で確認されている。支援の手が届きにくい、SOSの声が上げられない孤立した母親(家庭)を、地域に住む子育て経験者が訪問し支援することは、母親に自信とゆとりを持たせ育児の喜びや地域と繋がる機会をも与える。そして、このような家庭を創出することは、虐待の防止、健全な子どもの育成に不可欠であり、子育ての街・狭山市にふさわしい取り組みに発展すると期待される。また市のバックアップによって県や内閣府の公共協働推進事業等になる可能性もある。</p>